

# 2年目のツアーリズム 担当として

---

フィンガー陽子

# 活動1年目との変化

## 1年目（2018年4月から2019年3月）

1) 着任後の初めての仕事は、ツーリズムの地域の現状を知るため、農泊家庭の所在地を自ら探して回る

→農泊家庭へのアクセス状況や、実際のお客様が農泊家庭を初めて見た時の農泊家庭のイメージを把握できた

2) 臼杵市内のイベントや集まりに参加

→臼杵市内で活動している様々な方との交流ができた

3) 臼杵ツーリズム活性化協議会のサポートとして、グリーンツーリズムの現場対応に重きをおく

→農泊家庭との繋がりができた。またグリーンツーリズムの現状や課題が明確化された



4) 2018年12月より臼杵ツーリズム活性化協議会の専属事務員が産休に入ったため、メールでの対応、現場でのフォロー等さらにグリーンツーリズムに深くかかわるようになった

→吉四六さん村グリーンツーリズム研究会に深くかかわることにより、様々な気づきがあった

5) 大分ツーリズム大学に参加

→大分県内の地域資源を生かしたツーリズムの振興やネットワークづくりを通じた地域リーダーの育成を目指すもので、参加したことにより大分県内に様々なネットワークができた。また、観光等の第一人者の講義など知識の掘りさげに役立った



↑ 今後の仕事に活かせる様々な情報、  
知識を得ることができた



↑ 吉四六さん村の定例会  
／受入の様子

## 6) その他

→観光やインバウンド等の研修に参加、2018年11月には、  
ムラ旅九州のフランスプロモーションに参加し、九州全体の農泊の魅力を現地にて  
伝える。

# 2年目 (2019年4月から2020年3月)

## 2年目

1年目の活動の中で、将来に繋げたい農泊活動として吉四六さん村グリーンツーリズム研究会のサポートをしていくことを決定。

### 1) 農泊部長として、農泊希望者の農泊家庭アレンジ

農泊希望者のリクエストを聞きながらの農泊家庭のマッチング

お客様の満足度を高めるために事前の情報収集なども積極的に

行う

## 2) 旅行会社対応

→主にインバウンドの団体  
向けのアレンジを行う

## 3) 農泊のお客様の当日お迎え、 翌日の送り

当日：野津中央公民館

翌日：吉四六ランド

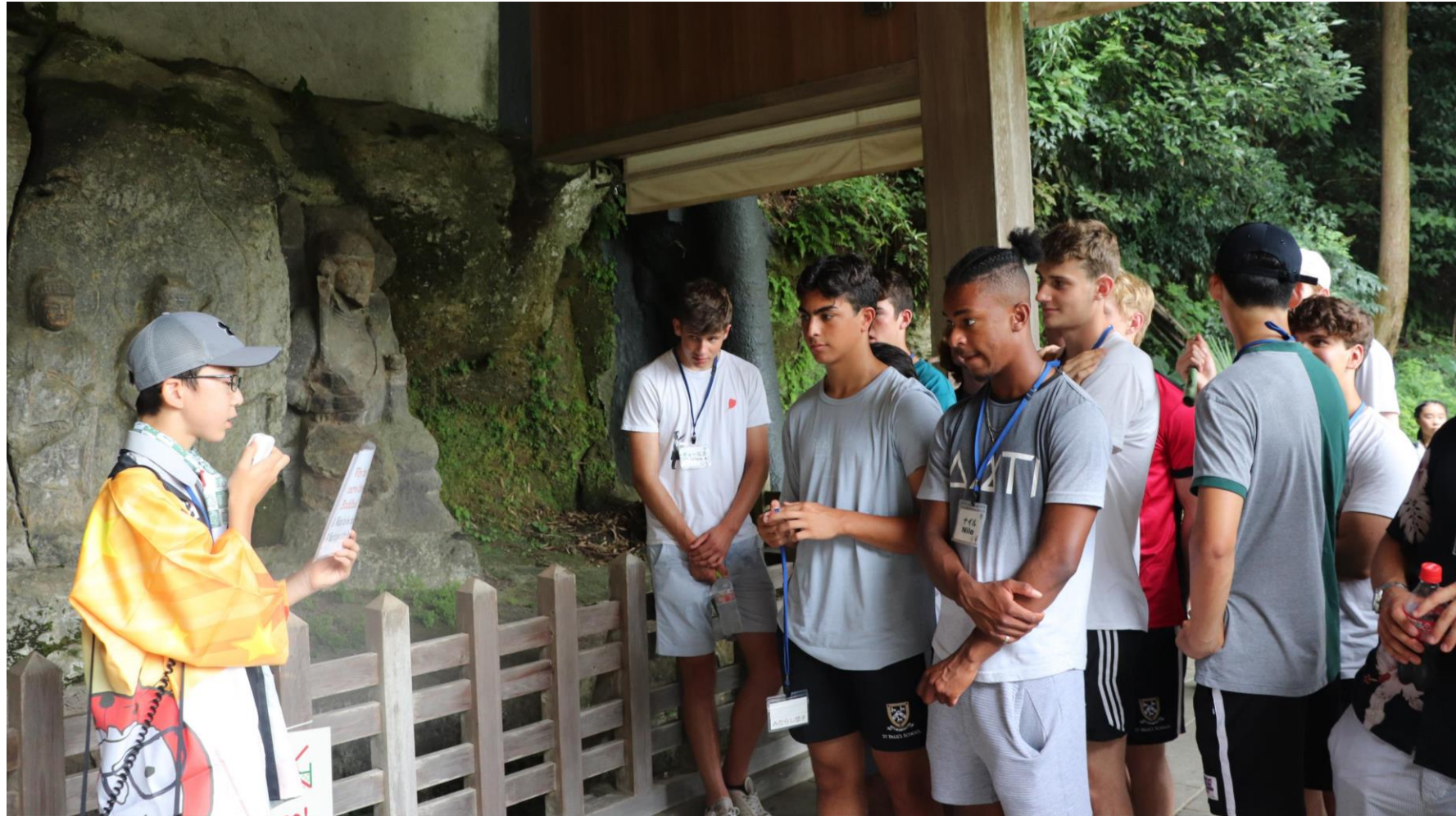
## 4) 滞在中のフォロー

農泊家庭で具合が悪くなった  
インバウンドのお客様のフォロー  
を英語でできたのは、いい思い出



## 5) インバウンド団体の石仏観覧のガイド及びコーディネーター

→野津で農泊をして、翌日に石仏を観覧した後フェリーターミナルまでお連れして、ホテルに宿泊した団体ガイドにお客様を引き継ぐ



# 見えてきた観光の課題

臼杵といえば石仏と、誰もがイメージをする「石仏」。

しかし、この2年間の中で、その良いイメージを生かし切れていない臼杵の観光体制に気づく。

- ・ 設備的な面でいえば、  
和式から洋式に変えただけのトイレ。

- ・ ソフト面では、

石仏のガイドの在り方、石仏でのお客様への情報提供の在り方、窓口のおもてなしの対応などがあげられる。

今後、どのようにして観光客を取り込んでいくのか検討すべき部分だと思う



6) 希望者に野津の普現寺を案内

地元資源を活用し、また丁寧な若奥様の禅の話は、  
インバウンド客に大好評



地元 普現寺の案内

## 7) 農泊家庭向け自主研修

特徴的な料理の得意な家庭から、みんなで料理を  
教えて貰う研修



8) 吉四六さん村グリーンツーリズム研究会の課題解決に向けて打合せ

9) その他

研修参加

①徐々に3年目の協力隊任期終了後に向けて、起業研修に参加

②臼杵市創業支援講座 受講

③先進地の農泊体験

# 未来に繋がる農泊へ

吉四六さん村グリーンツーリズム研究会の農泊は、18年目を迎えようとしている。しかし、農泊家庭の減少や、高齢化により当日の体験作業が困難になる等、設立当初と違った変化が起きている。

しかし臼杵市（主に野津）で続いてきた農泊は、



地域資源を掘り起し、そこに住む住人のプライドも向上させる。  
また、農泊家庭にとっても、お客様をお迎えすることは、  
生きがいになり、家庭に収入という潤いをもたらす。  
地域に続いてきた暮らしを次世代につなぐということなど  
メリットがとても多い



# 今後

- ・ 吉四六さん村グリーンツーリズム研究会が続いていくための体制の検討
- ・ 若い世代を取り入れた仕組みづくり
- ・ 農泊家庭にとって負担のない体験づくり

## 外に向かって

- ・ 他地域では、味わえない白杵の農泊のアピール
- ・ 農泊家庭のランキング化

# 3年目（2020年4月～）

## 3年目

自分自身の地域おこし協力隊の任期終了後に向けた取り組みをしつつ、2年間で集積した人脈、知識を活用していきたい

- ① 自宅改装 ビジネスも検討？
- ② 農泊家庭のパンフレットなどの充実
- ③ 農泊家庭の情報提供のありかた 検討
- ③ 農泊家庭 体験の充実

# 移住者として

2018年3月の末に、臼杵に移住。2年が終了しようとしている。

横浜育ちであり、首都圏で働いていたため、地方都市で暮らすのは、初めてであった。電車やバスなどを気軽に利用できた生活から自分で車を運転する生活になり、移動手段が劇的に変わった。

保育園にすんなり入所できたことで、仕事の可能性が広がり、ありがたく思っている。

小さな都市だからこそ、見えてくるものも多いが、移住したことは、良かったのではないかと感じている。



2年間

有難うござい  
ました